

# 花のある空間

大高 令子

## 手間をかけずに楽しむ 盛夏のデコレーション

ジメジメとして暑い日本の夏。切り花の花もちが悪くなるなか、東南アジアなど高温多湿な国々を原産とする「ミディ胡蝶蘭」（小さいサイズの胡蝶蘭）の鉢植えは、長く飾れるうえに手間もほとんどかかりません。

フラワーショップで鉢植えを購入し、ほんの少しアレンジを加えてシックに室内に飾ってみましょう。

まず2鉢のミディ胡蝶蘭を、バランスよく鉢カバーに配置します。この際、花同士がぶつからないように注意しましょう。

また胡蝶蘭系の鉢植えは、通常、茎の根元に金属の支柱を挿して花を支えています。これは見た目に美しいとはいえませんので、丁寧に茎から外して抜き取ります。

新しく支柱として、自然素材のウンリュウヤナギを挿して花を支えます。自然な印象に変わるとともに、ウンリュウヤナギが全体に動きをもたらします。

花を傷めないように、ミディ胡蝶蘭の茎と支えのウンリュウヤナギを、優しくラフィアで縛り止めて完成です。

空調の風が直接当たる場所は避け、水やりは月に1回程度、鉢カバーから出してたっぷりの水をあげ、水がはけてから再びカバーにセットするようにしてください。

およそ2か月ほど花を咲かせ続け、暑いシーズンも目を楽しませてくれます。



### 今月の花材

ミディ胡蝶蘭 [アマビリス] …… 花芯が黄色のもの  
[みゆき] …… 花芯がピンクのもの

ウンリュウヤナギ

その他 …… 陶器製の鉢カバー（藤製のバスケットでも涼やかです）  
ラフィア（椰子の葉から取れる繊維）または麻紐

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。